

令和 5 年度
事務事業評価シート
(社会教育・スポーツ課)

総合評価ランク

A	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている
B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている
C	成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い
D	成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要

野辺地町教育委員会

目 次

1 一人一人の主体的な学習と社会参加の推進	
（ 1 ） のへじ元気講座	40
（ 2 ） ハッチョウトンボ観察会	41
（ 3 ） 町文化賞、教育委員会文化賞の表彰	42
（ 4 ） 馬門公民館教養講座	43
2 次世代を担う青少年の育成	
（ 1 ） 子ども会事業	44
（ 2 ） 在学青年ボランティア会	45
3 地域を支える人材の育成	
（ 1 ） 生涯学習大学	46
4 学校・家庭・地域の連携による社会全体の教育力の向上	
（ 1 ） 家庭教育推進事業	47
（ 2 ） いのちのお話出前講座	48
5 社会教育推進のための基盤整備	
（ 1 ） 社会教育団体の支援	49
（ 2 ） 生涯学習カレンダーの発行	50
6 生涯スポーツの普及・振興	
（ 1 ） 町スポーツ賞、教育委員会スポーツ賞の表彰	51
（ 2 ） 健康ウォーターマラソンスタンプラリーの開催	52
（ 3 ） 青森県民スポーツレクリエーション祭参加	53
（ 4 ） 学校体育施設の開放促進	54
（ 5 ） 地域総合型スポーツクラブの検討	55
（ 6 ） 水泳教室開催	56
7 青少年スポーツの振興	
（ 1 ） スポーツ少年団への支援と育成	57
（ 2 ） 町営球場開設記念兼ライオンズクラブ旗争奪中学校野球大会の支援	58
（ 3 ） 青森県小学生スキー大会の開催	59
8 競技スポーツの推進	
（ 1 ） 青森県民駅伝競走大会選手強化支援	60
（ 2 ） 町スポーツ協会活動支援	61
（ 3 ） 競技スポーツ強化支援事業	62
9 スポーツ情報の充実	
（ 1 ） スポーツ史発行に向けて記録等の情報収集及び保存	63
10 社会体育施設・設備の整備・運営	
（ 1 ） 体育施設の総合的な修理修繕と運営	64

事務事業評価シート

施策名	一人一人の主体的な学習と社会参加の推進	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	のへじ元気講座	担当者名	貝塚 千佳

事業の目的・内容	参加者の自主的な学習意欲を促進し、相互交流を通して地域活性化を図り町を「元気」にすること、参加者一人ひとりが生きがいを見つけ「元気」な生活を送るための心と体の健康づくりを目的に実施する。		
事業の対象	成人		
事業費	年度	令和4年度決算	令和5年度決算
	金額	18千円	50千円
			令和6年度予算
			50千円

事業の実績・成果等 (数値)	受講料 1,000円 受講者27名、延べ受講者115名 ①「フラワートピアリー作り」(Atelier muguet 神 幸代氏) ②「名川チェリリン村」(町外研修) ③「最近の悪質商法」(青森県金融広報委員会) ④「シニアヨガ」(MAHANA YOGA 新山 奈穂氏) ⑤「歌とレクリエーションで生活を楽しく」(明の星短期大学 木村博子氏) ⑥「気象と災害」(青森地方気象台) ⑦「正月飾り作り」(青森県立種差少年自然の家)
-------------------	---

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない
	自己評価	B 優れた取組みがいくつかあり、成果が上っている	
評価説明及び考察、課題	・年配の方の生涯学習の場として役割を果たしているが、男性の参加者がいないため、参加を促進する内容、広報を検討する。 ・今後も受講生のアンケート結果を参考に、講座内容を工夫し、より幅広く学習・活動できる場を提供していく。		
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		B	B	B	B	B	B

評価委員意見(参考:令和4年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> 参加者への呼びかけ方を工夫してほしい。 男性の参加が少ないのは残念ですが、事業の目的は高齢者が増えていく昨今の時代に必要であり、有意義だと思う。 アンケートの結果を参考に、講座内容を工夫していただきたい。 男性も参加可能なアイデアも工夫が必要。 幅広い分野の講師を招いて講座を開催している努力は伺えるが、参加者のニーズに合っているかアンケートを実施し反映させてみてはどうか。

評価委員意見(令和5年度)

<ul style="list-style-type: none"> 講師の選定について、継続的な努力をお願いしたい。 講座の開催日をほとんど知らないことが多いので、PRの工夫をお願いしたい。 高齢者が多いとしても継続すべき。 年間のスケジュールが事前に分かっているので、町民に情報をお知らせする時に参加者への呼びかけを工夫して伝えてほしい。 男性も行ってみたいと思ってもらえるようなアイデアがあればよいと思う。 男性向けの講座を考えることも必要かと思う。また、もう少し幅広い講座を検討してはどうか。 幅広いジャンルの講座内容で良い事業だと思う。
--

事務事業評価シート

施策名	一人一人の主体的な学習と社会参加の推進	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	ハッチョウトンボ観察会	担当者名	原田 悠紀

事業の目的・内容	まかど温泉スキー場あったかハウス「まかどの森」前に絶滅が危惧されているハッチョウトンボの生息が確認されたことから、生息域を保護しつつ、その魅力を伝える。平成28年度から、町内小学校3年生を対象に総合的な学習として観察会を実施している。		
事業の対象	町内小学校3年生		
事業費	年度	令和4年度決算	令和5年度決算
	金額	5千円	5千円
			令和6年度予算
			10千円

事業の実績・成果等(数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・ハッチョウトンボ生息域内への侵入を規制(6月～10月)し、トンボが生息できる環境づくり・保全を行っている。 ・観察会は、文化財保護審議委員の高沢岩男氏を講師に招き、実施した。 		
	町内3年生(野辺地小学校/若葉小学校)		
	実施日: 令和5年6月26日(月) 10:00～		

事業の評価(自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	<ul style="list-style-type: none"> ・観察会では新聞社へ取材を依頼し、その結果町外から観察へお越しいただいているため、今後も継続していく必要がある。 ・ハッチョウトンボの生息数が減少傾向にあるため、保護区の整備について検討していきたい。 ・当事業を継続するためにも、後継者問題について検討していきたい。 		
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		B	A	B	B	B	B

評価委員意見(参考:令和4年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> ・環境づくり、保全を徹底するための予算確保が課題ではないか。 ・子どもたちにとっても貴重な学習の一つだと思うので、保護の整備を町が計画的に行い、ハッチョウトンボの生息及び学習が永続的なものになることを願う。 ・自然が相手なので守っていくのはとても気の使う事業だと思っている。できるならハッチョウトンボが生きられる環境を町民と共に作っていけたら継続して観察会ができると思う。 ・自然が相手で大変難しいとは思いますが野辺地町の貴重な財産なので、絶やさないよう継続してもらいたい。
--

評価委員意見(令和5年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・小学校3年生対象で継続してほしい。 ・保護区域の整備は早急にすべきだと思う。 ・年々暑さが増して、人も生きる為の工夫が必要なのに、ハッチョウトンボにとってもまかど温泉スキー場あったかハウス「まかどの森」の生息場所に住むのは大変だと思う。なんとか守る方法を考えていただき、この地球共同体を守っていけるようにと希望する。 ・保護区の整備に力を入れていただき、長くハッチョウトンボを観察できる環境づくりを期待する。 ・子どもたちに自然の大切さを伝えるよい機会だと思う。ハッチョウトンボが減少傾向にあるとのことなので、保護区の整備について前向きに検討をお願いしたい。
--

事務事業評価シート

施策名	一人一人の主体的な学習と社会参加の推進	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	町文化賞、教育委員会文化賞の表彰	担当者名	貝塚 千佳

事業の目的・内容	文化活動において優れた業績をあげ、町の文化振興に寄与した方を表彰する。		
事業の対象	町民一般		
事業費	年度	令和4年度決算	令和5年度決算
	金額	70千円	67千円
			令和6年度予算
			150千円

事業の実績・成果等(数値)	<p>●授与式 2月27日(火) 16時～ 野辺地中央公民館 ホール</p> <p>○町文化賞</p> <p>①文化奨励賞(個人) 6名</p> <p>○教育委員会文化賞</p> <p>①文化優秀賞(個人) 50名 (団体) 2団体</p> <p>※令和4年度から町HPに候補者募集の案内掲示。</p>
---------------	---

事業の評価(自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない	
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	<p>・関係団体との連携を図るほか、引き続き広報誌と町ホームページで候補者の推薦を呼びかけ、事業を周知し、受賞者漏れを防ぐ。</p>		
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	A	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		B	A	B	A	A	B

評価委員意見(参考:令和4年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> ・関係団体との連携を更に充実させてほしい。 ・表彰されることは日々鍛錬されている方にとって名誉であり、励みになるので今後も適切な表彰をお願いしたい。 ・今後も継続を希望する。 ・評価されることで自分の存在意義を認識することもたちも多いと思うので、ぜひ続けて頑張るこどもを応援してあげてほしい。

評価委員意見(令和5年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・PR大使をお願いしてはどうか(QRコードシールを名刺に貼るなど)。 ・多くの年代の励みとなる事業であり、さらに充実を望みたい。 ・日頃の努力の積み重ねによって得られる賞なので、町全体で応援し、町の宝(人財)を大切にしている事業として残してほしい。 ・今後も継続を希望する。 ・今後も受賞者漏れがないようお願いしたい。

事務事業評価シート

施策名	一人一人の主体的な学習と社会参加の推進	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	馬門公民館教養講座	担当者名	原田 悠紀

事業の目的・内容	趣味と教養を高めるとともに、仲間づくりのため開催する。 開講時期 5月～10月			
	事業の対象 成人			
事業費	年度	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
	金額	30千円	30千円	45千円

事業の実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・講座内容(人数) ダンス(6人)、着付け(7人) ・受講料 1講座1,500円 ・講師謝金 1人15,000円 学んだ成果を馬門コミュニティ文化祭で発表している。
-------------------	---

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない
自己評価	B 優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている		
評価説明及び考察、課題	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の意欲は高く、講座期間外にも自主的に活動が行われている。 ・参加者の要望を確認し、新規講座の開設などを検討する。 		
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		B	B	B	B	B	B

評価委員意見(参考:令和4年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> ・参加者が少ないと思う。講座の内容も見直しを行い、もう少し幅広い活動になると良い。 ・居場所があることは生きる励みとなると思う。今後もいろいろな工夫を加えつつ継続を希望する。 ・公民館が有効に使用され、更に利用する方の喜びに繋がっているの、講座の見直しなども検討しながら続けてほしい。
--

評価委員意見(令和5年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・参加者を増やす働きかけを工夫してほしい。 ・気軽に参加できるよう、受講料の引き下げも必要。 ・野辺地町の人口の10.8%の町民が馬門地区に住んでいて、そのうちの1.1%の方々が参加している。もう少し参加者が増えることによって、ますますお互いを支え合い、励まし合える場となってほしい。 ・参加者の意欲に応えるよう、これからも継続してほしい。 ・成果を発表する機会もあるので、受講者にとっても意義のある事業だと思う。参加者を増やす工夫も必要だと思う。
--

事務事業評価シート

施策名	次世代を担う青少年の育成	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	子ども会事業	担当者名	黒澤 晋一

事業の目的・内容	こどもたちの健やかな成長と青少年の育成を目的として実施。			
	<ul style="list-style-type: none"> 子ども会の加入状況 幼児10名、小学生64名、中学生8名、高校生1名 計83名 			
事業の対象	子ども会 会員			
事業費	年度	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
	金額	45千円	64千円	90千円

事業の実績・成果等(数値)	・活動体験(全2回)		
	①令和5年7月23日 歴史探検キッズツアー(野辺地編) こども:6名 大人:6名 計:12名		
	②令和5年7月29日 歴史探検キッズツアー(鯉ヶ沢編) こども:6名 大人:3名 計:9名		
	③令和5年10月22日 棒パン作り こども:27名 大人:18名 計:45人		

事業の評価(自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	・少子化により加入子ども会数が減少しているとともに、こどもたちの体験活動の機会が減少していることから、地域における子ども会活動の役割が一層必要とされているため、今後の子ども会の在り方について役員会などで協議する必要がある。		
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input checked="" type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		B	B	B	B	B	B

評価委員意見(参考:令和4年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会の活動を広報等で紹介してほしい。 ・まずは子ども会に参加する子どもを増やしてほしい。 ・各地区の子ども会の費用負担を町でできないか、予算計上できないかを検討してほしい。 ・こどもの時でなければ体験できないことがあると思うので、今後もわくわくするようなアイデアを出しながらコミュニティの場を作り、協力し合う中で信頼関係を深めてほしい。 ・町内のこどもが少なくなり各単子の人数も減っていく中、行事を企画運営してくださるのは有難い。ただこれからはこどもの数もどんどん減ると思われるので、子ども会の未来も考えていかなければならない時期になっているのではないかと思います。
--

評価委員意見(令和5年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・小学生は町内に約430名程度いるが、子ども会加入者は64名となり、今後が心配。各町内との連携も視野に入れてはどうか。 ・事業充実のためには、予算措置も行うべきだと思う。 ・子ども会の活動をなかなか知ることがないので、文化祭の時にでも活動を知ってもらえるようなコーナーがあってもよいのではないかと思います。 ・細々とではあるが、こどもたちが主役で楽しい企画を実施してくれている。こどもの減少は課題ではあるが、居場所を作り続けてほしい。 ・事業の目的に沿った良い活動だと思う。活動体験の参加者を増やす工夫が必要。 ・町内の各子ども会の活動を知る場がほしい。
--

事務事業評価シート

施策名	次世代を担う青少年の育成	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	在学青年ボランティア会	担当者名	中山 直樹

事業の目的・内容	高校生（野辺地高校・野辺地西高校）を対象としてボランティア意識を醸成することを目的として活動を実施する。		
事業の対象	高校生		
事業費	年度	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算
	金額	3 千円	3 千円
			令和 6 年度予算 0 千円

事業の実績・成果等（数値）	①事業名：十符ヶ浦海水浴場ごみ拾い 実施日：令和5年7月2日（日） 成果等：参加者として、野辺地西高等学校生2名、教員1名 野辺地高等学校生9名 海開き前の海水浴場ごみ拾い活動
	※10月21日～22日活動予定としていた、「馬門公民館文化祭運営協力」については、高校生の予定があわず中止。 ※2月18日（日）実施予定としていた、「高齢者宅の除雪作業」については、雪不足の影響により中止。 参加予定者として、野辺地西高等学校生4名、教員1名 野辺地高等学校生3名

事業の評価（自己評価）	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)	<input type="checkbox"/> 達成できている		
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない

自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている
評価説明及び考察、課題	高校生のボランティア活動に対する意識が高く、特に環境整備に関する活動には積極的であるため、公共施設など多くの住民が快適に利用していただけるよう計画的に事業を取り入れていきたい。また、引き続き高校生の意見を確認しながら、地域交流が図れるような活動を提供していきたい。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了	

事務評価委員の評価

総合評価	B	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		B	B	B	B	B	B

評価委員意見(参考:令和4年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> ・小中高合同のごみ拾いなども有効ではないか。 ・本事業はボランティアとしてだけでなく、SDGsに繋がる活動であることも高校生には意識してもらえるような事業にしてほしい。 ・今後も継続を希望する。 ・とても意義のある事業だと思う。働くこと、触れあうこと、考えることなど一度の企画で様々なことを吸収できるので、更に回数を増やして頑張ってもらいたい。

評価委員意見(令和5年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・予算確保と中学生の参加等を検討してほしい。 ・社会に出ていく前に、有意義なボランティア活動をたくさん経験していけば、心も豊かに成長できると思っているので、ゴミ拾いも含めてこれからも継続していくことを望む。 ・令和5年度は2つの活動が中止になり残念だが、参加者を増やす工夫をして継続をお願いしたい。

事務事業評価シート

施策名	地域を支える人材の育成	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	生涯学習大学	担当者名	原田 悠紀

事業の目的・内容	体系的な高度な学習内容の講座を開設し、町民の生涯学習及び社会参加活動による生きがいの創造を推進するとともに、学生が地域活動のリーダーとして活躍することを目指し実施している。		
事業の対象	成人（年間登録制）		
事業費	年度	令和4年度決算	令和5年度決算
	金額	80千円	102千円
			令和6年度予算
			95千円

事業の実績・成果等（数値）	令和5年7月～12月 18:00～19:30 会場：中央公民館 ホール 受講料 2,000円 受講者数 30名 延べ 118名 ①「野辺地の祭りの歴史」野辺地町歴史を語る会 会長 鈴木 幹人 氏 ②「まつりを彩る山車づくり」駅前組祭典部 ③「笑い、潤いのある生活は、スポーツ・レクリエーション活動から ～日常生活にニュースポーツとSDGsの実践を～」青森県レクリエーション協会 副会長 白川 直人 氏 ④「青森の温泉の魅力と楽しみ方」温泉ソムリエマスター 鎌田 祥史 氏 ⑤「童謡・唱歌のルーツをたどる～日本の西洋音楽導入を訪ねて～」青森大学 ソフトウェア情報学部 教授 白岩 貴 氏 ⑥「ラビアンローズ～バラ色の人生を～」十和田バラ焼きゼミナール 舌校長 畑中 宏之 氏
---------------	--

事業の評価（自己評価）	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	・幅広い世代（男性／若年層等）へ学習の場を提供するため、参加意欲がわくような講師選定や周知活動を工夫していきたい。		
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する		
	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	A	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		B	B	A	A	A	A

評価委員意見(参考:令和4年度の評価意見)

- ・参加者への呼びかけを工夫してほしい。
- ・とても良い事業だと思う。参加される方々の要望を聞いて、講座を開設してもらいたいと思う（最新の資産運用についてなどどうか）。
- ・生涯学習大学を知らない人がいると思うので、若い人向けに発信しても良いと思う。全部出られなくても一回でも受講料を支払って受けられるチャンスがあっても良いと思う。
- ・学び続けることは生きる力に繋がり、町民の心も豊かにしてくれると思うので、継続してほしい。

評価委員意見(令和5年度)

- ・講師の選定について、継続的な努力をお願いしたい。
- ・有意義な事業と考える。参加者も多いが、受講料が高いと思う。
- ・町民に広く周知する方法を工夫しつつ、若い人たちも参加したくなる内容も増やしていきながら学びの場を広げて行ってほしい。
- ・全講座出られなくても、1回でも受講料(例えば1回500円など)を支払って学ぶことができればよいと思う。
- ・生きがいを感じることができるというのは全ての面においてプラスになることだと思う。これからも興味がわくすばらしい講座を期待する。
- ・受講内容のジャンルが幅広く充実しているようで良い事業だと思う。幅広い世代で参加できる工夫も必要だと思う。

事務事業評価シート

施策名	学校・家庭・地域の連携による社会全体の教育力の向上	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	家庭教育推進事業	担当者名	原田 悠紀

事業の目的・内容	多くの保護者が集まる保護者会や、参観日等の機会を活用して、幼稚園、保育園、小中学校の要望に応じて家庭教育支援のための学習会を提供する。		
	参加者数 約58名（園児・児童含む）		
事業の対象	幼児・児童・生徒とその保護者（町内保育所、幼稚園、小・中学校）		
事業費	年度	令和4年度決算	令和5年度決算
	金額	35千円	20千円
			令和6年度予算 60千円

事業の実績・成果等（数値）	①9月22日（金）わかば保育園「親子エアロビクス教室」 館信子氏
	②9月30日（土）野辺地保育園「運動あそび教室」 アクシススポーツクラブ 玉山貴宏氏

事業の評価（自己評価）	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	・家庭教育を学ぶ機会を絶やさないように、幼稚園、保育園、小中学校と連携し、要望を汲み取りながら継続していく必要がある。		
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		B	B	B	B	B	B

評価委員意見(参考:令和4年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> ・町連合PTAとタイアップできないか。 ・事業活動を見ると身心の教育に特化していて、家庭教育とは内容が相違しているように思うので、学習会の内容を見直して継続してほしい。 ・家庭教育といっても幅が広いと思うが、参加しやすくし参加することによって少しでも心が豊かになってくれると良いと思う。 ・各公共施設からの要望に応じて実施しているので、必要な事業だと思う。

評価委員意見(令和5年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・PTA行事と同様の内容なので、各小・中・園の割当て等を検討してはどうか。 ・年に1～2回では少ないのではないか。 ・参観日等を活用できないか。 ・学校と連携しながらアイデアを出し合い、交流を深める事業になればよいと思う。 ・とても良い事業なので、もっとPRしてもよいのではないか。 ・小中学校でも事業を活用できるような工夫が必要だと思う。

事務事業評価シート

施策名	学校・家庭・地域の連携による社会全体の教育力の向上	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	いのちのお話出前講座	担当者名	貝塚 千佳

事業の目的・内容	町内4学年児童とその保護者を対象に、男女の体の違いや妊娠・出産の知識を正しく伝えることで性と心の教育及び親子の絆を深めてもらうため、青森県助産師会に依頼し「いのちのお話出前講座」を実施。		
	※令和4年度まで県の地域自殺対策強化事業費の補助を受けていたが対象外となり、令和5年度より町費で実施。（助産師会へ県の補助が出ることとなり委託料が減額された）		
事業の対象	町内4学年児童とその保護者		
事業費	年度	令和4年度決算	令和5年度決算
	金額	112千円	32千円
		令和6年度予算	32千円

事業の実績・成果等 (数値)	①10月3日(火) 野辺地小学校 体育館 参加者：野辺地小学校4年生39名、保護者15名
	②10月5日(木) 若葉小学校 体育館 参加者：若葉小学校4年生40名、保護者4名
	※令和5年度から保護者の参観を再開

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない
	自己評価	B 優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	・保健の授業だけではなく、外部の講師からの詳しい説明や実際に胎児の心音を聞くほか、保護者から児童への手紙を通して、命に対する理解を深め、出産時やいのちの大切さを振り返る良い機会となっている。		
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	A	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		B	A	A	B	A	A

評価委員意見(参考:令和4年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> ・学校側も重視している大切な事業なので、継続してほしい。 ・親にとっても子どもにとっても、それぞれの目線で命とは？親子とは？と語り合うことができる良い事業だと思う。 ・親と子の繋がりを知る良い時だと思う。お互いを大切に絆を深める事業なので、継続を希望する。 ・いのちの大切さを共有できる場所としてこれからも継続してほしい。
--

評価委員意見(令和5年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・「いのちの大切さ」について、町をあげて取り組んでいることをもっと広くPRしてほしい。 ・たった1つで大切な命の尊さを学ぶ良い講座なので、今後もぜひ継続を希望する。 ・性教育の在り方を考えていく必要が、以前にも増してあると思う。 ・いのちに対する思いとともに、親子の絆を親も子ども改めて見つめ直せる機会であると思うので、継続してほしい。 ・親子の絆、いのちの大切さを学べるすばらしい事業で、これからも必要だと思う。

事務事業評価シート

施策名	社会教育推進のための基盤整備	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	社会教育団体の支援	担当者名	原田 悠紀

事業の目的・内容	社会教育における青少年健全育成及び文化活動等を推進するため、団体が行なう事業について、補助する。また、団体事業を支援する。		
事業の対象	社会教育団体		
事業費	年度	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算
	金額	186 千円	124 千円
			令和 6 年度予算 239 千円

事業の実績・成果等 (数値)	団体補助金		
	①野辺地町文化振興協議会	104,000円	※返還あり
	②野辺地町在学青年ボランティア会	2,405円	※返還あり
	③野辺地町子ども会育成連絡協議会	64,190円	※返還あり
	④野辺地町連合PTA	57,388円	※返還あり

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	・各団体の活動を維持、発展させるために今後も補助を継続する必要がある。		
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		B	A	B	B	B	B

評価委員意見(参考:令和4年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> ・支援は必要だと思うので継続してほしい。 ・各団体の最低限を維持するのも資金は必要なので、社会教育活動を支援するため今後も継続を望む。 ・今後も継続を希望する。
--

評価委員意見(令和5年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・団体活動支援は必要であり、充実すべき。 ・今後も継続を希望する。 ・今後も必要な事業だと思う。
--

事務事業評価シート

施策名	社会教育推進のための基盤整備	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	生涯学習カレンダーの発行	担当者名	原田 悠紀

事業の目的・内容	学校行事やスポーツ団体が主催する行事、町が主催する行事等を掲載し、町民への情報提供を行う。			
	町民			
事業の対象	年度	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
	金額	3千円	0千円	3千円

事業の実績・成果等 (数値)	平成30年度まで作成していた2つのカレンダー（コミュニティカレンダー、スポーツカレンダー）の内容を1つにまとめたカレンダーを作成し、町や学校の行事、スポーツイベントの日程を掲載している。 印刷業者に委託し、作成した壁掛けカレンダーを每户配布していたが、令和3年度より経費削減のため、担当課にて作成したポスター型カレンダーに変更し、下記の通り周知した。		
	4月末発行 ○町内公共施設へ掲示・設置 ○町HPへ掲載 →「教育・文化・スポーツ」>「文化・生涯学習」>「生涯学習カレンダー」		

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない
自己評価	B 優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている		
評価説明及び 考察、課題	・限られた予算内で各行事の情報をわかりやすく多くの人に提供できる方法を検討する。		
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する		
	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		B	B	B	C	B	B

評価委員意見(参考:令和4年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> ・町の行事について広く町民へ周知するため必要な事業なので、より良い周知方法を工夫しながら継続を望む。 ・利用している人がいるかどうかはあまり耳にしませんが、あると便利だと思う。以前のように個別配布ではないので、いつ何をしているのか分かりづらい。人の目につく場所に掲示してほしい。
--

評価委員意見(令和5年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・役場内各課と連携し、より多くの情報が入った「野辺地町カレンダー」的なものを検討してはどうか。 ・施設内への掲示だけでは人目に付かないと思う。さらに多くの場所(集会所等)への掲示が必要。 ・生涯カレンダーを希望する人に、どこに行っても手に入るかを知らせてほしい。 ・以前が町民に配布されていたが、なくなったので活動が見えにくい。 ・予算がない中での事業ではあるが、それを理由とせずに発信し続ける努力をしてほしい。 ・生涯学習カレンダーの内容を「広報のへじ」の町のカレンダーに掲載してもよいのではないか。
--

事務事業評価シート

施策名	生涯スポーツの普及・振興	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	町スポーツ賞、教育委員会スポーツ賞の表彰	担当者名	貝塚 千佳

事業の目的・内容	スポーツ競技大会において優れた成績をおさめた者を表彰し、野辺地町のスポーツの普及、振興を促進することを目的とする。		
事業の対象	野辺地町表彰規則による（町民ほか）		
事業費	年度	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算
	金額	378 千円	286 千円
		令和 6 年度予算	474 千円

事業の実績・成果等（数値）	<p>●授与式 2月27日（火） 16時～ 中央公民館 ホール</p> <p>○町スポーツ賞</p> <p>①スポーツ賞（個人）10名</p> <p>②スポーツ優秀選手賞（個人）12名（団体）5団体</p> <p>○教育委員会スポーツ賞</p> <p>①スポーツ優良賞（個人）1名 ②スポーツ奨励賞（個人）7名（団体）2団体</p> <p>③生涯スポーツ優秀賞（個人）12名（団体）1団体</p>
---------------	--

事業の評価（自己評価）	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	・関係団体との連携を図るほか、引き続き広報誌と町ホームページで候補者の推薦を呼びかけ、事業を周知し、受賞者漏れを防ぐ。		
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		B	A	B	A	B	B

評価委員意見(参考:令和4年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> ・成績の基準に参加人数、後援団体等も含め、吟味が必要。 ・表彰されることは日々鍛錬されている方にとって名誉であり励みになるので、今後も適切な表彰をお願いしたい。 ・今後も継続を希望する。

評価委員意見(令和5年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・表彰基準の吟味を継続してほしい。 ・今後とも継続・充実を希望する。 ・今後も受賞者漏れがないようお願いしたい。
--

事務事業評価シート

施策名	生涯スポーツの普及・振興	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	健康ウォーターマラソンスタンプラリーの開催	担当者名	米内山 周大

事業の目的・内容	健康増進及び運動不足を解消し、町民の健康維持の一助となることを目的とする。野辺地町から仙台市までの距離（400キロ）を完歩することを目標にし、自分のペースでプールの中を移動。配布しているスタンプカードに当日移動した距離を記入し、スタンプを押して記録する。実施期間終了後に最終結果を掲載した完歩歩証を配布し、上位5位に施設無料券を贈呈する。なお、参加者は施設使用料が410円から210円になる。		
	事業の対象 20歳以上の町民		
事業費	年度	令和4年度決算	令和5年度決算
	金額	0千円	0千円

事業の実績・成果等 (数値)	期 間：令和5年7月12日（水）～令和6年3月7日（木）
	場 所：野辺地町屋内温水プール「サンビレッジのへじ」 参加者数：69名

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	<ul style="list-style-type: none"> ・20代から70代まで幅広い世代がまんべんなく参加している。 ・運動の習慣化、健康になったや快眠できた等日常の変化をもたらしていると思われる。 ・様々な事情があると思われるが、数回の参加で終わっている方も少なくないことから、継続的にウォーターマラソンに参加できる仕組みがさらに必要。 		
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		B	A	B	B	B	B

評価委員意見(参考:令和4年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> ・町民の健康意識を高めるために継続してほしい。 ・評価でまんべんなく参加されている方がいるとのことなので、毎年参加されている方もいるかと思う。町民の健康維持の事業として継続してほしい。 ・年間パスポートがあっても良いのではないか。 ・町にあるプールが多くの人に有益に使用されることを望む。大人だけでなく子どもたちも年間行けるような工夫が必要と思う。プールをもっとPRしても良いと思うので、アイデアを望む。 ・もう少し宣伝方法を工夫して、参加してくれる町民を増やしてほしい。
--

評価委員意見(令和5年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが安心して利用できるように、あと1コースの底上げが必要。 ・年間を通しての実施も検討してみてもどうか。 ・町民の健康増進のために、継続を希望する。 ・いろいろな方にプールをどんどん使っていただけるように、年間パスポートを作ってみてもどうか。 ・アイデアを出し、イベントだけでなく定期的に水泳教室等を行ってほしい。 ・町に1つしかない貴重な施設なのに、利用する人がなぜ少ないのか今一度考えてほしい。改善すべき所はたくさんあるのではないか。 ・町民の健康維持に貢献している良い事業だと思う。

事務事業評価シート

施策名	生涯スポーツの普及・振興	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	青森県民スポーツレクリエーション祭参加	担当者名	貝塚 千佳

事業の目的・内容	広く県民にスポーツ・レクリエーション活動の場を提供し、県民一人ひとりの活動への参加意欲を喚起するとともに、県民の生涯を通じたスポーツ・レクリエーション活動の実践を図り、健康で活力ある生活に資することを目的としている。		
事業の対象	野辺地町の各種スポーツ、レクリエーション団体が参加		
事業費	年度	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算
	金額	9 千円	14 千円
			令和 6 年度予算
			36 千円

事業の実績・成果等(数値)	第16回青森県スポーツ・レクリエーション祭への参加 令和5年6月～7月に33種目を分散開催 ○参加競技(3団体30名参加) ①グラウンド・ゴルフ競技 16名 ②マスターズ陸上 1名 ③レクリエーションダンス競技 13名
---------------	--

事業の評価(自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	・感染症の影響で昨年度まで競技の中止等があったが、今年度は通常通り大会が実施された。コロナ前と比較すると参加者数が減少しており、生涯スポーツの普及・振興のため競技団体へ積極的な参加を呼びかけていく。		
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		B	B	B	B	B	B

評価委員意見(参考:令和4年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> ・町民の健康意識を高めるために継続してほしい。 ・今後も継続してほしい。また、参加者の増加、参加種目の増加についても取組んでほしい。 ・コロナ禍で参加取消があったようだが、今後5類となったので参加者が増加することを望む。今後も参加者がいる限り継続してほしい。

評価委員意見(令和5年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・町で用具を揃えて、いろいろな種目を体験できるようにしてほしい。 ・33種目あるのに参加が3種目では少ないと思う。増やす努力を期待したい。 ・周知をし、いろいろなプログラムに参加できるようにしてほしい。 ・もう少しPR活動の発信を強化して、関心を持ってもらう努力を期待する。 ・種目、人数ともに増やす工夫が必要だと思う。
--

事務事業評価シート

施策名	生涯スポーツの普及・振興	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	学校体育施設の開放促進	担当者名	野坂 鳳真

事業の目的・内容	スポーツ活動の普及・振興を目的として町内小・中学校の体育館、校庭を児童・生徒が使用していない時間に開放する。
	年間で使用する団体へは一年ごとに申請書を提出してもらうこととしている。

事業の対象	町民			
事業費	年度	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度予算
	金額	0 千円	0 千円	0 千円

事業の実績・成果等 (数値)	令和 5 年度 利用回数		
	年間開放回数	768回	
	野辺地小学校	408回	(5団体)
	若葉小学校	192回	(3団体)
	野辺地中学校	168回	(6団体)

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない

自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている
------	---	-------------------------

評価説明及び考察、課題	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの団体が体育館を利用し、活動が行われている。 ・窓や入口等の施錠忘れや喫煙の注意など度々注意喚起を行っている状態である。 ・令和6年度末に学校開放利用団体を対象とした会議を行う予定。
-------------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了
--------	---

事務評価委員の評価

総合評価	B	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		B	A	B	A	B	B

評価委員意見(参考:令和4年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きマナー向上をお願いしたい。 ・特にトラブル等の話を聞いたことはないので、今後も使用するためのマナーやルールを必ず周知しながら継続してほしい。 ・マナーはもちろん使用後のチェックは必要と思う。感謝の気持ちを忘れず大切に使用してほしい。 ・町の好意で無料で貸していただいているという有難い気持ちを持って利用する方も気をつけて使っていただければ、マナーの向上に繋がると思う。
--

評価委員意見(令和5年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・施設はもちろん駐車場利用等についても、学校に迷惑をかけないように指導してほしい。 ・多くの団体が利用しており、継続していくべきと思う。 ・学校の理解があってスポーツ活動ができるので、使用している団体の皆様もマナーを守りながら、感謝の気持ちを持って使用するようお願いしたい。 ・町内でたくさんのスポーツ団体が活動する中、無償で解放していただき、団体は感謝しかないと思う。マナーとして、借りている団体には感謝の気持ちを忘れず使用していただきたい。 ・利用者は非常に助かっていると思う。

事務事業評価シート

施策名	生涯スポーツの普及・振興	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	地域総合型スポーツクラブの検討	担当者名	米内山 周大

事業の目的・内容	当町の各スポーツ団体との連携を強化し、地域住民にも理解を求め、それぞれが有する課題等の共有、解決を図りながら、町のスポーツの方向性を検討する。		
事業の対象	町民全般		
事業費	年度	令和4年度決算	令和5年度決算
	金額	0千円	0千円
		令和6年度予算	0千円

事業の実績・成果等(数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度…年度末に地域総合型スポーツクラブに関する研修会を開催。 ・平成29年度…高齢者のスポーツに関するニーズを調査するため県事業を活用し健康体操講座を開催。 ・平成30年度…南部町、田子町の実施状況を視察研修。 ・令和3年度…県のアドバイザーからクラブ設立に向けた情報収集 ・令和4年度…県主催の講習会に参加し円滑かつ継続的に運営するために必要な事項に関する講習に参加。 ・令和5年度…年度末に地域総合型スポーツクラブに関する研修会を再度開催。
---------------	--

事業の評価(自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できてない
自己評価	C	成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い	
評価説明及び考察、課題	<ul style="list-style-type: none"> ・成果が上がっているとは言えない状況である。 ・平成28年度に研修会を開催してから、行政側は色々な知識を得たと思われるが、各スポーツ団体の総合型に対する知識が、以前のままのため研修会を開催し、設立に向けて引き続き調査、検討を継続していくこととする。 		
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	C	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		C	C	C	C	C	C

評価委員意見(参考:令和4年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> ・行政サイドで音頭をとり、代表者会議を開催してはどうか。 ・本事業をこれから検討していくのであれば、小中学校の部活動地域移行についても包括的に事業検討してほしい。 ・今後の検討に期待する。 ・なかなか進まない事業であるが、スポーツ全般が発展するためにはぜひ実現していただきたいと強く要望する。

評価委員意見(令和5年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・町としての方向性を示し、外部への委託も視野に入れて進めてほしい。 ・各団体の意識を高めるためにも、研修・講習が多く必要と思われる。 ・今後も研修会の開催を希望する。 ・早期に成果があがることを期待する。

事務事業評価シート

施策名	生涯スポーツの普及・振興	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	水泳教室開催	担当者名	米内山 周大

事業の目的・内容	幼児・児童を対象に、安全かつ楽しく水に慣れること及び泳力技術向上を目的に全6回にわたる水泳教室を開催。 講師はウイング青森より派遣されている。 参加料 幼児1,500円 児童1,500円 募集定員人数 幼児 16名 児童 26名			
	事業の対象 幼児・児童			
事業費	年度	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
	金額	205千円	205千円	307千円

事業の実績・成果等 (数値)	令和5年度実績 (毎週土曜日実施) 実施期間 6/3～10/14 初級講座 幼児6回 小学生6回 中級講座 幼児6回 小学生6回 計 12回			
	申込人数 各講座 幼児11名 児童26名			

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない	
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	・初級講座は定員割れとなったが、中級講座は定員超えの申込者であった。事業継続により、泳力が付き中級講座に挑戦する児童が増えてきていると感じている。 ・初級・中級講座のみの開催のため、さらに向上したい幼児・児童に対する対応ができるか講師の派遣や申込人数の把握などが課題である。		
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		B	A	B	B	B	B

評価委員意見(参考:令和4年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児、児童が利用することを想定し、あと2コースくらいの底上げを検討してほしい。 ・ 本格的に水泳技術を習得したいこどもたちの足掛かりとなって、将来的にスイミングスクールへ繋がったりすれば、選手として活躍できる最初の一步の事業として期待している。 ・ こどもの水泳教室は毎年参加者が多いので、今後も継続してほしい。 ・ 募集人数に対応できていない部分もあるので、改善して継続してほしい。

評価委員意見(令和5年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・ こどもたちが安心して利用できるように、あと1コースの底上げが必要。 ・ 幼児・児童・生徒・成人などの年代でも利用できるような水泳教室を実施していただきたい。 ・ 継続して実施してほしい事業ではあるが、毎年の改善点をきちんと改善して実施してほしい。 ・ 事業の目的は達成されていると思う。ニーズがあれば上級も検討して継続してほしい。
--

事務事業評価シート

施策名	青少年スポーツの振興	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	スポーツ少年団への支援と育成	担当者名	貝塚 千佳

事業の目的・内容	こどもがスポーツ活動を行いやすい環境をつくり、スポーツを通して団体行動や仲間づくりに励む場を提供する。			
	<令和5年度登録状況> 団数 10団 登録者数 142名 指導者数 36名			
事業の対象	幼児～高校生、指導者			
事業費	年度	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
	金額	372千円	356千円	372千円

事業の実績・成果等(数値)	町スポーツ少年団の事務局として、団員の登録申請や各スポーツ少年団大会申込等を行う。 また、各単位団に大会参加料や活動費等として、補助金を交付する。		
	(補助) ・団体制 …町スポ少へ登録している団体へ助成 ・団員割 … ” 人数によって助成 ・認定員講習会参加費…資格取得のための講習会に参加した方への助成		

事業の評価(自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない	
自己評価	B 優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている		
評価説明及び考察、課題	・スポーツ少年団は、こどもたちのスポーツ環境を支える重要な役割を担っており、競技用品の取得や指導者資格取得、更新など様々な面で支えていく必要がある。		
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する		
	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		B	A	B	B	A	B

評価委員意見(参考:令和4年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> ・広く町民から不公平感を抱かれないように配慮してほしい。 ・スポーツは怪我がつきものなので、スポーツ保険加入等に使用されていると思いますが、費用項目を明確にさせていただいて継続してほしい。 ・青少年の健全育成のために今後も継続を希望する。

評価委員意見(令和5年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・支援だけでなく、指導者や団体に対する指導(体罰禁止、夜間の練習を控えるなど)を強化してほしい。 ・少年団の活動継続・発展にも、支援の継続は必要。 ・青少年の健全な育成のために、今後も継続を希望する。 ・大変ありがたい事業なので、継続して実施してほしい。 ・指導者や保護者の負担軽減にもつながると思うので、継続が必要だと思う。

事務事業評価シート

施策名	青少年スポーツの振興	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	町宮球場開設記念兼ライオンズクラブ旗争奪中学校野球大会の支援	担当者名	野坂 鳳真

事業の目的・内容	近隣町村の中学校を招待し大会を開催していたが、新型コロナウイルス感染症拡大による中止や、地元中学校である、野辺地中学校野球部の廃部に伴い中止としていた。 その為、スポーツ少年団（小学生）を対象とした代替大会の開催を検討し、違う形での開催を目指す。
----------	--

事業の対象	中学生			
事業費	年度	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度予算
	金額	0 千円	0 千円	20 千円

事業の実績・成果等（数値）	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団（小学生）を対象とした代替大会の開催を検討し、関係者より聞き取り調査を行った。 ・大会の開催希望があり、参加チームの見込みもあったため、大会開催関係者と協議・打合せを行った。 ・次年度へ向けた大会素案の作成。 <p>※令和6年度に「野辺地町スポーツ少年団親善野球大会兼野辺地ライオンズクラブ記念大会」として大会開催済み。</p>
---------------	--

事業の評価（自己評価）	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている		
	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない	

自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている
------	---	-------------------------

評価説明及び考察、課題	・代替大会の開催を検討し、関係者より聞き取り調査から始め、大会開催関係者との協議・打合せを実施できた。また、次年度へ向けた大会素案の作成も行った。
-------------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 事業完了
--------	---

事務評価委員の評価

総合評価	B	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		B	A	C	C	B	C

評価委員意見(参考:令和4年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続不可能な事業ではないか。 ・中学校野球大会としては、現状廃止を検討する時期と捉えている。ただ、少人数でも野球がしたい中学生はいるはずなので、他に活躍できる場の検討が必要だと思う。 ・今後の野球競技の在り方がはっきりすることを望む。野球好きの人たちがチームを組んで楽しく競技ができ、人生が豊かになってほしい。 ・参加するチームが近隣に殆どないという現実なので、来年からは違う形で開催するのも良いのではないか。

評価委員意見(令和5年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・「スポ少対象」という新しい方向性で2～3年継続し、今後の方向性を再検討してほしい。 ・事業を整理し、今後の方針を確立すべき。 ・野球好きの人たちが集い、人生を楽しめるような大会として今後進められることを望む。 ・令和5年度は大会が開催されなかったが、事業目的から見たら令和6年度の代替大会を開催済みということで、目的は果たしたと思う。

事務事業評価シート

施策名	青少年スポーツの振興	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	青森県小学生スキー大会の開催	担当者名	野坂 鳳真

事業の目的・内容	スキーを通じて児童の健全育成及びスキー技術や資質の向上を目標とし、スキーの町、野辺地町を全県的に広報しながら、実行委員会を中心に町をあげて応援、実施するものである。		
事業の対象	県内小学生3～6年		
事業費	年度	令和4年度決算	令和5年度決算
	金額	509千円	654千円
			令和6年度予算
			739千円

事業の実績・成果等 (数値)	期 日：令和6年2月4日（日）
	場 所：あつたかハウスまかどの森
	競技種目：距離競技、リレー競技
	※大回転競技については、まかど温泉スキー場の大雨災害より休止。
	参加校 7校 参加人数 40名
	11/28 第1回実行委員会
	1/25 第2回実行委員会
	3/21 第3回実行委員会

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	<ul style="list-style-type: none"> ・近年は5名前後の減少幅で推移しており、競技方法等も検討しながら実施していきたい。 ・新型コロナウイルス感染症の影響をうけリレー競技と距離競技個人を1日にまとめて実施した。運営する側としては厳しい部分もあるが、予算の節約につながっている部分もあると思われるので、選手やコーチの意見も参考に今後の運営を行っていきたい。 		
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		B	A	B	B	B	B

評価委員意見(参考:令和4年度の評価意見)

- ・リフトの件、参加者減少の件から、実施内容や方法を見直す時期ではないか。
- ・スキーの町野辺地町とこれからも言えるように、関係者の皆様には今後も頑張って継続してほしい。
- ・いろいろな工夫をしながらスキー大会を開催していただき感謝している。野辺地町の子どもたちにも雪国でしかできないスキーを楽しむチャンスがあるので、良い大会になってほしい。
- ・「スキー発祥の町 野辺地町」としてこの大会はなくさず続けてほしいが、スキー人口の減少により厳しい現実問題もあるので、何か対策をしていただきたい。

評価委員意見(令和5年度)

- ・県のスキー協会・団体と連携し、他のスキー場との持ち回り等も検討する時期ではないか。
- ・参加者が激減していることに驚いている。開催内容を見直してもよいのではないか。
- ・暖冬の時もあつたりリフトも使えなかったりと、スキーを取り巻く環境が厳しくなっていると思うが、野辺地町にスキーが残るようにしてほしい。
- ・アルペンは無理でも、クロスカントリーは継続してほしい。
- ・スキー人口が減少しており運営は厳しい状況と思われるが、そのスポーツを頑張っている子どもがいる以上、頑張って続けてほしい。運営を他組織と協力して行うことをこれから考える必要があるかと思う。
- ・アルペン休止は残念だが、大会日数を短縮するなど工夫して実施できてよかったと思う。町外からも参加者が集まるので、継続してほしい。

事務事業評価シート

施策名	競技スポーツの推進	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	青森県民駅伝競走大会選手強化支援	担当者名	黒澤 晋一

事業の目的・内容	県主催の市町村対抗駅伝競走大会である。 各学校の陸上部、スキー部顧問、アスリートクラブ等で実行委員会を組織し、参加対象者の小学生、中学生、高校生、一般選手を育成して、町選手団として大会に臨む。		
事業の対象	小学生・中学生・高校生・一般		
事業費	年度	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算
	金額	607 千円	740 千円
			令和 6 年度予算 920 千円

事業の実績・成果等 (数値)	期日：令和5年9月3日（日）青森市
	結果：総合の部 9 位 町の部 2 位
	選手選考会 7/9, 7/16 合同練習会 7/29, 8/5
	現地試走会 8/8, 8/21, 8/26, 8/27
	5/23 第1回実行委員会
	7/24 県へ選手名簿提出
	8/23 市町村代表者会議
	8/28 第2回実行委員会兼付添者会議

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)	<input type="checkbox"/> 達成できている		
	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている		
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	・4年ぶりとなる公道での開催であったが、選手スタッフ一同混乱せず良い成績を取めることができた。 ・選手選考会に参加していただける選手が年々減少しており、今後選手確保が難しくなると感じている。		
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		B	A	B	A	B	B

評価委員意見(参考:令和4年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> ・良くできていて成績に結びついている。 ・選手選考や合同練習等、色々と言苦労があると思うが、町の部1位を目標に今後も継続してほしい。 ・日々の努力があつての駅伝参加に繋がっていると思う。今後も町ぐるみで応援しつつ、一人でも多くの参加者がいることを望む。 ・努力が実り少しずつ成果をあげているので引き続き頑張ってください。今回は事前に選手を知ることができ、より身近に感じることができた。

評価委員意見(令和5年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・壮行式的な行事は事前に行い、駅伝当日の朝は選手にゆとりをもたせてあげたい。 ・選手、関係者の努力に敬意を表したい。今後も継続を望む。 ・毎年参加ができ、良い結果を残していることは、素晴らしいと思う。 ・町ぐるみで支援している姿勢が伺える。ただし年々選考会に参加する人数が減っているというのは様々な事情があると思われるので、その在り方をもう一度検討する必要もあるのではないかと思います。 ・これからも上位入賞を目指して頑張してほしい。町民の多くも期待していると思う。

事務事業評価シート

施策名	競技スポーツの推進	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	町スポーツ協会活動支援	担当者名	米内山 周大

事業の目的・内容	当町のスポーツ振興の中核を担うスポーツ協会を支援し、町民の体力・競技力を育てるとともに、スポーツにより町の活性化に資するものである。			
	令和5年度 加盟団体 20			
事業の対象	一般町民			
事業費	年度	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度予算
	金額	509 千円	700 千円	700 千円

事業の実績・成果等(数値)	○第46回上北郡総合スポーツ大会参加支援 主会期：令和5年5月27日（土）、28日（日） 会場：六ヶ所村ほか 総合成績：7町村中5位（参加競技：16競技中12競技） 優勝種目：柔道、ゴルフ		
	○第76回市町村対抗青森県民体育大会参加支援 主会期：令和5年7月29日（土）、7月30日（日） 上北地域 総合成績：30町村中17位（参加競技：20競技中7競技） 優勝種目（町村の部）：なし		

事業の評価(自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、大会が開催され多くの競技に参加することができた。 ・加盟団体の中には、競技者の高齢化が進み活動に支障が出てきているところが見受けられる。 		
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		B	B	B	B	B	B

評価委員意見(参考:令和4年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> ・町スポーツ協会の協力があって各団体や個人の方がスムーズに大会に参加できると思うので、必要な支援を継続してほしい。 ・コロナ禍での中止は本当に残念。今後も支援を継続してほしい。

評価委員意見(令和5年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・一般町民にとってどのような意義があるのか検討してほしい。 ・スポーツ協会参加の各団体活動継続に向けて、さらに支援強化を望む。 ・高齢化が進み、参加が大変なところもある中で継続して参加しているので、今後も支援しつつ、参加可能な各団体に人が増えるようにしてほしい。 ・高齢化の課題もあるが、町民の方に広くスポーツに接してもらうためにも、支援はこれからも必要だと思う。

事務事業評価シート

施策名	競技スポーツの推進	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	競技スポーツ強化支援事業	担当者名	野坂 鳳真

事業の目的・内容	まち・ひと・しごと創生総合戦略掲載事業 東北大会、全国大会への出場が決定した町内小中学校、高等学校に在籍する個人、団体に対し、事前の強化合宿及び遠征に必要な経費を助成し、大会での上位入賞を支援するとともに、町のこどもたちの目標となる選手の育成及び競技力向上を目指し、活気ある町勢を実現する。 平成28年度より実施。			
	事業の対象 町内小学校、中学校、高等学校に在籍する個人・団体			
事業費	年度	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
	金額	1,595千円	2,801千円	1,600千円

事業の実績・成果等 (数値)	申請団体：野辺地高等学校5件、野辺地西高校8件 野辺地ジュニアスキークラブ2件、野辺地ハンドボール協会1件 入賞者：(東北大会)個人5名、1団体 (全国大会)個人3人、1団体
-------------------	--

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない
自己評価	B 優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている		
評価説明及び考察、課題	・助成対象者へ経費支援を行うことで、大会での好成績を期待する。 ・目標値である、入賞者数(東北大会 5名3団体 全国大会 3名3団体)にはまだ届いていないが、年々東北大会入賞や全国大会の出場等成果は表れているため、引き続き支援を行っていきたい。		
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		B	A	B	B	A	B

評価委員意見(参考:令和4年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> ・広く町民から不公平感を抱かれないように配慮してほしい。 ・能力があるこどもが上位を目指すためにはやはり相応な経費が必要で個人の負担では限界があるので、野辺地町から優秀な選手が輩出されることを期待して継続してほしい。 ・継続を希望する。
--

評価委員意見(令和5年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・一般町民にとってどのような意義があるのか検討してほしい。 ・継続を希望する。 ・遠征や強化合宿は経済的負担が大きいため、必要な事業だと思う。

事務事業評価シート

施策名	スポーツ情報の充実	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	スポーツ史発行に向けて記録等の情報収集及び保存	担当者名	野坂 鳳真

事業の目的・内容	スポーツの記録等の収集・保存要領（平成9年制定）のもと、各団体の情報収集を行う。			
	町制100周年記念スポーツ史 平成9年8月28日 発行 町制120周年記念スポーツ史 平成30年3月発行 150部			
事業の対象	学校、スポーツ協会、スポーツ少年団			
事業費	年度	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
	金額	0千円	0千円	0千円

事業の実績・成果等（数値）	年2回（11月下旬、3月下旬）学校・スポーツ協会・スポーツ少年団へ大会出場記録等の提供を依頼。 提供された記録等の内容を確認し、収集保存要領に基づき、今後の記念誌作成のための資料等を整理する。
---------------	---

事業の評価（自己評価）	必要性（町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。）		
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。）		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか。）		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回に分けて各スポーツ団体から記録等の情報提供を受け、内容を精査している。 ・収集保存要領により精査するが、量が膨大であるため、保存方法や内容整理が重要。保存方法に関してはPDF化など文書量を減らす等の必要もあり、保存媒体としてCD等も活用し保存に努めたい。 ・10年程度の期間で資料をまとめたものをHPで公表する等活用方法を検討する。（記念スポーツ史として発行するか検討。） 		
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		B	B	B	B	B	B

評価委員意見（参考：令和4年度の評価意見）

<ul style="list-style-type: none"> ・今以上にスポーツ団体の協力を依頼すべきである。 ・記録の作成、収集、保存、記録媒体の選択等、将来有効活用できる状態維持を最新のもので更新をお願いします。 ・継続を希望する。

評価委員意見（令和5年度）

<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の分は学校だよりを参照し、改めて依頼しなくてもよいようにしてほしい。 ・目立たない事業ではあるが、大切なものであり、継続・充実してもらいたい。 ・継続を希望する。 ・記録や情報の保存は大変重要であるが、範囲がとても広いので精査がとても大変と思う。ただ記録を残す必要はあるので、しっかり正確な情報収集に努めてほしい。 ・今後は町ホームページ等で公表して、広く町民に見てもらえる機会もあればよいと思う。

事務事業評価シート

施策名	社会体育施設・設備の整備・運営	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	体育施設の総合的な修理修繕と運営	担当者名	中山 直樹

事業の目的・内容	住民が気軽にスポーツを楽しむことが出来るよう、使いやすく、快適性のある身近なスポーツ施設の整備促進に努め充実を図る。		
事業の対象	社会体育施設（スポーツ施設）		
事業費	年度	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算
	金額	7,473 千円	16,653 千円
			令和 6 年度予算
			3,999 千円

事業の実績・成果等（数値）	各社会体育施設修繕 令和5年度			
	支出	町立体育館	修繕	2,922,016円
		運動公園	修繕	175,373円
		屋内温水プール	修繕	1,402,060円
		体育センター	修繕	204,600円
		あったかハウス	修繕	2,652,738円
		備品購入		7,365,400円
		備品購入		61,410円
		備品購入		721,200円
		備品購入		635,760円
		備品購入		511,500円
	①野辺地町立体育館 修繕：会議室カーペット張替、水銀ランプ交換、トイレ換気扇取付、消防設備不良箇所修繕、カーペット交換、外灯ボール照明、屋根シリング、煙突剥離箇所撤去 備品：消火器、ハンドボール用ゴールネット及びキャッチネット、ブルーナー、AED、柔道用量			
	②野辺地町運動公園 修繕：乗用芝刈機点検整備、駐車場男子トイレ、管理棟女子トイレ 備品：消火器			
	③屋内温水プール 修繕：ブルーナー部品交換、下足室照明器具不良修繕、浄化槽プロモーター交換、機械室内配管漏水修繕、ろ過配管漏水箇所修繕 備品：消火器、AED、水中ポンプ			
	④体育センター 修繕：破風修繕、男子トイレ修繕ほか 備品：消火器			
	⑤あったかハウス 修繕：計算ハウスガラス修繕ほか 備品：LED投光器・発電機ほか			

事業の評価（自己評価）	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない
自己評価	A 優れた取組みが多く、十分成果が上がっている		
評価説明及び考察、課題	成果：予算の範囲内で工事・修繕・備品購入等が予定通り実施できた。 課題：体育施設において修繕等を計画的に実施しているが、老朽化ですべての施設において突発的な修繕が発生している。		
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	A	木村委員	四戸委員	前田委員	橋本委員	村木委員	R4参考
		B	A	A	A	A	A

評価委員意見(参考:令和4年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> ・安全を第一に、必要性に応じて対応してほしい。 ・まずは施設を使用する人が整備状況が悪くて怪我に繋がることがないように、優先順位を精査して整備、運営をお願いしたい。 ・予算の不足している中で工夫しながら行われていると思う。今後も各施設が安全で活動しやすいように計画的にしてほしい。 ・様々な公共施設が老朽化していく中であるのは仕方がないが、必要な修繕を必要とされる場所で行ってくれているので有難い事業ではある。
--

評価委員意見(令和5年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが安心して利用できるように、あと1コースの底上げが必要(プール)。 ・ほとんどの施設が老朽化している現状にあり、利用者の安全第一を優先に運営してもらいたい。 ・今後も予算不足の中継続していくと思うが、計画的をお願いしたい。 ・安全を第一に考え、必要などころから整備をお願いしたい。 ・老朽化で修繕も大変だと思うが、安全で快適に利用できるようにこれからもお願いしたい。
